

平成22年度 秋冬期輸送対策について

平成22年10月13日

1. 基本的な考え方

平成22年度秋冬繁忙期（10～12月）の輸送対策は、季節物資の出荷やお客様の年末需要等に弾力的に対応するため、前年並みの臨時列車の運転及び曜日運休列車の復活運転などを実施します。特に、季節物資である農産品の出荷に対応するため北海道発着の臨時列車を運転し、輸送力を最大限確保いたします。また、旺盛な需要が見込まれる東海道・山陽線の年末輸送対策として、東京 大阪・九州間の臨時列車を運転します。

合せて、輸送障害時における迅速かつ弾力的な代行輸送体制の構築、正確な情報の提供等、危機管理体制の強化を図り、信頼性の向上を図ってまいります。

2. 具体的な対策

（1）臨時列車運転による輸送力増強（別紙参照）

（2）輸送力の取得しやすい環境づくり

お客様のニーズをきめ細かく把握し、I-TEMセンターの機能を活用しながら「輸送枠」の適切な調整をすることによって、安心して鉄道貨物輸送をご利用いただけるための確実な輸送力の提供を行ってまいります。

隘路区間の対策として、福岡貨物ターミナル駅～鳥栖貨物ターミナル駅間のトラックによる併用代行を実施します。

（3）危機管理体制の強化

自然災害等による輸送障害時に備え、日本海側のフェリーと連携した代行輸送体制を実施します。

(別 紙)

1 . 臨時列車運転計画

(1) 季節物資輸送対策

地帯間	発駅	着駅	運転日	記 事
北海道 関東	帯広	熊谷(夕)	9/16-10/9	9/22,28,29 は運休
	熊谷(夕)	帯広	9/17-10/11	9/28 は運休
	札幌(夕)	東京(夕)	10/22-12/12	11/22,29,12/6 は運休
	東京(夕)	札幌(夕)	10/23-12/5	11/22,29 は運休
北海道 関西	札幌(夕)	梅田	8/24-12/23	8,11,12月の月曜運休
	梅田	札幌(夕)	8/24-12/22	8,11,12月の日曜運休

(夕)は、貨物ターミナルの略

(2) 年末輸送対策

地帯間	発駅	着駅	運転日	記 事
関東 北海道	隅田川	札幌(夕)	12/7-25	月曜日及び12/19は運休
	札幌(夕)	隅田川	12/12-25	休翌日及び12/19は運休
関東 関西	東京(夕)	梅田	12/14,17,21,24	昨年2回 本年4回運転へ
	大阪(夕)	東京(夕)	12/14,15,17,21,22,24	昨年2回 本年6回運転へ
関東 九州	東京(夕)	福岡(夕)	12/15,17,22	
	福岡(夕)	東京(夕)	12/18	

(夕)は、貨物ターミナルの略